

平成27年度

学校だより

第9号

2015年 5月30日

ヒューストン日本語補習校

学習参観 学級懇談会 小2, 3, 5A, 高等部

学習参観、懇談会の3日目は、小2年、3年、5Aと高等部でした。参観授業はもちろんですが、どのクラスも多く保護者の参加を得て、年度初めの学級懇談会を意義あるものにしようと、クラス委員と担任で連絡を取り合い、準備を進めることができました。

今回の学級懇談会では、学年学級の経営方針や学習における補習校と家庭の連携のあり方、PTA活動の伝達事項の確認のほか保護者ボランティアについてのお願ひもさせていただきました。

この中の学級環境整備、復旧に関しては、もう始まっているクラスもあり、各教員とても助かっております。借用校との良好な関係構築のためにもとても大切な業務ですが、保護者の皆様のお力添えをいただき、非常にスムーズに行うことができいております。まことにありがとうございます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



小5 A学級懇談会



高数 I 参観授業



高等部懇談会

進路情報!

日本での学校説明会日程 (中学校)、2学期編入試験日程 (中学、高校) の情報が入っています。詳しくは事務窓口か学級担任 (小高学年、中学部、高等部) まで。

—ホロコーストミュージアム見学記より—

「一つのスーツケース」

6年A組 佐藤龍之介

僕たちは、第2次世界大戦のときの日系人収容所での生活の様子を学びに、ホロコーストミュージアムに行った。

ガイドさんは、「日本のパールハーバー」の攻撃でアメリカ人は、日系人を危ないと思い、日系人を収容所にいれた。」と話してくれた。「仕事や家をすべてなくした。日本人の血が少しでも流れていたら、収容所に連れて行かれた。西海岸に住んでいた日系人が主に連れていかれ、全部で12万人いた。」と教えてくれた。

僕が最初に見たものは、スーツケースを持っている女の子の写真だった。何でスーツケースを持っているのかなと思って、説明を聞くと、収容所にはスーツケースが1つ分の荷物しか持っていけないことが分かった。もしぼくだったら、大事なものがたくさんあって、選べないと思う。この女の子は、きっと大事なものを捨てたと思う。すぐくつらかったと思う。

ぼくは、すぐく不公平だと思った。戦争のせいで、何も悪いことをしていないのに、日系人というだけで、収容所に入れられて、自由をうばわれた。収容所の人たちは、女の子の様に家や大切な持ち物を失い、何の楽しみもない収容所で生活しなければいけなかった。

今ぼくは、自由に暮らし、むなしい思いをせずに生活できることをありがたいと思う。このミュージアムに来て、第2次世界大戦の知らなかった事を学んだ。



小2 A 授業参観



小2 B 授業参観



小2 C 学級懇談会



小3 A 授業参観



小3 B 学級懇談会



小3 C 授業参観

悲しい歴史を訪ねて

6年B組 榊田星良

先週の土曜日、6年A組とB組は、補習校の代表としてホロコーストミュージアムを訪れました。

私が一番この博物館で知りたかった事は、「なぜユダヤ人は、ヒトラーから迫害されたのか?」「なぜヒトラーがこんなに力を持ったのか?」です。

この二つの疑問は、前から知りたかった事です。私は、八人のクラスメイトと見学しました。ツアーガイドはユダヤ系の人でした。

最初に私達が見たのはドイツに住んでいたユダヤ人の女の子の写真でした。口元には笑みを浮かべ、うれしそうな顔でした。なぜこの写真が心に残ったかという、女の子の歳が私に近かったからです。また、そこに展示されていたほかの写真はどれもどんよりと暗い顔をした人ばかりでしたが、この女の子だけは笑っていたからです。

後に何が起こるか分からなかった女の子がとてもかわいそうだと思います。その子もホロコーストで、亡くなってしまったからです。もし私がその時代に生きていて少女の知り合いだったら収容所に行く前に助けていたと思います。

次に見た写真は、ヒトラーが多くの人の前でスピーチをしている写真でした。その下には、(多くの人が戦争に負けて、希望を無くしかけていた時、ヒトラーは「みんなで力を合わせればドイツを取りもどせる。戦争で負けたのは、ドイツ人のせいではなくユダヤ人達のせいだ!」)とスピーチしたと、説明が書かれていました。これで私の疑問点が解決しました。

私はこの説明を読んだ時、改めてヒトラーという人が本当にずるいと思いました。なぜならヒトラーはドイツの国民にうそをついて、自分の意見に賛同させようとしたからです。私はこの時、なぜヒトラーが力をつけていったかがわかりました。

最後に見た写真はユダヤ人が穴を掘らされている場面とガス室に入れられて殺されてしまう場面でした。この写真を見た時、私達の顔はひきつりました。

以前私は何度か、ホロコーストに関連する本を読んだ事があります。その本では、ユダヤ人の女の子がバイオリンを弾く事ができたので、すぐに殺されずにすみました。その女の子はアウシュビッツの音楽隊に入り、ナチスのために演奏したからです。とてもつらかった事と思います。この楽隊の人たちは他の国が助けに来た時、収容所での事実を伝えるために、どんな事があっても死なないで生き延びると誓いました。

ガイドの人に、この博物館がなぜ暗いのかと聞かれた時、はじめはよく分かりませんでした。でも考えてみたら、ホロコーストの暗いふん囲気を表しているという事がわかりました。

これは博物館に来た人達への「収容所で起こったような間違いを二度と起こさないように。」というメッセージだったのだと思いました。

私はこの歴史を知った事で、今の平和な時代にとっても感謝しました。

<字級便りから>

小4C 読書感想より

「デマ」

4年C組 大木香那

わたしは、「デマ」という本を読みました。三木という男の子が主人公です。三木は算数がにがてです。でも、三木はがんばってテストで95点をとりました。それなのに、みんなが三木がカンニングしたと言いました。ほうとうはカンニングをしていないのです。そんなことを言う人たちは、いじわるだと思いました。わたしがそんないじわるされたら、なきそうになると思います。なきそうになるとき、のどがいたくなります。

そこで、先生が三木に問題を出して、自分でできるかどうかみせるチャンスを与えます。三木はよく考えて答えたら、あっていました。そこを読んだときは、ほっとしてうれしくなりました。人のことをうたがってしまいたくなくなることもあります。それが本当のことかわからないこともおおく、こまってしまう。気をつけようと思います。

◆パトロール当番予定表 6月6日◆

これは 6月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

学年	順位	児童生徒氏名		
★AM1	リーダー	幼	3 6	榎木 堇
	2		3 7	サング ステラ
	3		3 8	清水 幸恵
	4		4 0	高添 更紗
	5		4 1	ディング 喜心
	6		4 3	生川 一帆
	7		4 4	量 万桜
★PM1	リーダー	幼	4 5	福田 六花
	2		4 7	松本 悠花
	3		4 8	宮本 紗和
	4		4 9	柳沢 里咲
	5		5 0	矢吹 実弥子
	6		5 1	ヤンシー れい
	7		5 2	ルイモン ミッシェル

【今後の予定】

5/30	高等部中間考査、PTA役員会
6/ 6	PTAクラス委員会 水 Rocket 発射実験
6/13	第1回漢字検定 歯科指導 (幼、小1・2年、保護者)
6/20	通常授業
6/27	通常授業 夏休み帳配布 職員会議

学籍 転出 中3年 保田南菜 小2C 松本和凜 小4C 松本隆良
在籍数 (6月6日現在) 494名
幼55名 小329名 中72名 高38名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

(文責 : 校長 山崎弘光)